

学校だより

あ お ぎ り

平成 2 1 年度

22



平成 2 2 年 1 月 2 5 日
須坂市立森上小学校

各種展覧会開催

冬休み明けは、教室の廊下や中央廊下がたいへんにぎやかでした。本校の冬休みの書き初め、秋に制作した絵画、それに加えて上高井郡内の書・絵画・ポスター等の巡回展が重なりました。



書き初め 3年生



～巡回展より～



読書旬間 (1月12日～22日)

「お話しの会」が、14日(木)に行われました。1・2年生、3・4年生、5・6年生に分かれて、それぞれ担当になった PTA 文庫委員さんから紙芝居や読み聞かせをしていただきました。

また、翌15日(金)には、先生方による読み聞かせが各クラス毎にありました。今回の取り組みがきっかけで、一層本への興味関心が高まったり、活字への抵抗感が少なくなっていけばいいと思います。発達段階に応じた読書活動が大事です。



5・6年生読み聞かせ 「オバマ」

スキー教室(5・6年生)より

22日(金)、スキー教室に5・6年生が行ってきました。天候が心配されましたが、日頃の行いがよかったのでしょうか、新雪をいただいたゲレンデで好天にも恵まれ、全員が思いっきりスキーを楽しむことができました。第4ペアリフトの途中からは、遠くにうっすらと富士山が見えました。

近くにスキー場がいくつもあるという恵まれた環境にあるおかげでしょうか、森上小学校の子どもたちは、スキーが上手です。滑り終えて皆が「楽しかった」と言っていました。大人になって須坂の地を離れる子どもたちもいるかもしれませんが、故郷須坂の楽しい思い出として心に残り、生涯スポーツとして楽しめたらいいですね。



～学級編制について～

「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で、学級編制基準や教員配当基準が定められています。この法律に加えて長野県では、「選択型こまやか教育プラン」事業の一つとして、「小学校 30 人規模学級編制」を県独自で実施し、小学校は 35 人で 1 学級としてしています。(中学校では 40 人で 1 学級です。)

例えば、1 学年の児童数が 70 人であれば 2 学級編制ということになり、71 人では 35 人を一人超してしまうので、3 学級編制ということになります。

ところで本校ですが、児童数が 70 人前後という学年が複数あり、その数の推移に注意をはらっているところです。仮にこれまで 3 学級で維持してきたところが、70 人に減ってしまった場合、1 名ぐらいだからなどと言ってくれません。どこかで線を引かなければいけませんので、情け容赦なく 1 学級減になってしまいます。場合によってはこのようなことも起こりうることをご承知おき下さい。

<森上小学校で見られる花> その36 クマザサ(イネ科ササ属)

厳密にクマザサ(隈笹)というと、*Sasa veitchii* という種をさすようですが、一般的には、葉に隈取りのある笹を皆「隈笹」と呼んでいるようです。私は、山地に見られる白い隈取りのある笹をクマザサ(熊笹)と呼んでいました。誤りでした。

本校では、玄関ロータリーと中庭の岩石園横に生い茂っています。植栽されたものですが、真性の種クマザサ *Sasa veitchii* であるのかわかりません。竹も笹も花が咲くと



冬のクマザサ



枯死すると言われており、本校のクマザサの花はまだ見たことがありません。しかし、山を歩いていて時々、笹の花に出会うことがあります。

クマザサの葉には多種類の薬効成分が含まれているとして「クマザサ茶」が売られています。

また、葉の抗菌、防腐作用をうまく利用しているのか、笹寿司が飯山地方の郷土食として作られています。

(文責：校長 宮澤輝行)